

とらのもん

- 医療における病理の役割
ー病気を見てどのように診断するのか?ー
- 連携医療機関のご紹介 ～佳久こどもクリニック～
- 厚生労働省が定める医師臨床研修を実施しています



〈本院の今昔〉

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

公開講座のお知らせ

『医療における病理の役割』

ー病気を見てどのように診断するのか?ー』

病理部部长 大橋 健一

日時：6月21日(土) 14:00 - 15:30

場所：本院 本館3階 講堂

(入場料無料)

※諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認下さい。



医療における病理の役割

－病気を見てどのように診断するのか？－

病理部部長 大橋 健一

【はじめに】

病理診断と聞いてもいったいどのようなものなのかピンとこない方が多いのではないのでしょうか？“精神病理”、“社会問題の病理”など本来の病理学という言葉から二次的に派生した言葉の方がむしろマスコミに取り上げられることが多く、なじみがあるかもしれません。今年の4月、厚生労働省から病理診断科を新たな診療科（標榜科）として認める通達がなされました。今後、病理診断科というクリニックが誕生するかもしれませんし、病院の看板に病理診断科という文字が目につくかもしれません。病院に病理診断に関する設備、機能があることが患者さんに伝わりやすくなると思われれます。診療報酬、保険点数表に関する変更も今年の4月になされ、病理診断に関して検査から分かれて分類されるようになりました。機会があればぜひ病院からもらった領収書の明細を見てください。項目の最後に見慣れない“病理診断”という項目があることに気づくと思います。

今回の公開講座ではこの聞きなれない病理診断の役割、皆様の関心が深いと思われる癌の診断が実際どのように行われているのか説明したいと思います。

【病気を見ることの歴史】

私が大学生時代、医学教育を通してよく言われていた言葉として、“病気を見ずに、病人を見る”というのがあります。医学の父とされる古代ギリシアの医師ピポクラテス以来、“病人を見る全人的医療”が重視されてきました。でも、考えてみると“病気を見ずに、病人を見る”という言葉は、病気を見る能力のあるひとが言うからこそ意味があるのです。

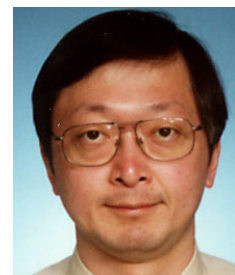
いったい人間はいつの時代から病気を見るようになるようになったのでしょうか？

古代ギリシア時代、ローマ時代、病気とは体液のバランスの乱れ（四体液説）、霊魂、精気の問題（精気論）とされてきました。この考えは2世紀の医師ガレノスによって集大成され、ローマカトリックキリスト教会の教えともむすびついて、以来1500年間にわたって信じられて

大橋 健一 S61年卒

＜専門分野＞
消化管腫瘍の病理
腎臓の病理
アミロイドーシス

＜所属学会等＞
日本病理学会専門医
日本臨床細胞学会専門医
日本癌学会
日本腎臓病学会
日本食道学会



きました。ルネサンス期を過ぎた16,7世紀、いろいろなテクノロジーの進歩もあってようやく人間はガレノスの呪縛から解き放たれ、科学的に“病気を見る”ことができるようになったのです。

【病理学の歴史と病理診断】

17世紀末、イタリアに生まれた医師モルガーニは、数多くの病死体の解剖（病理解剖）を行い、“病気は臓器に特徴的な変化をもたらし、それを調べることによって病気の原因を知ることができる”という考えに到達しました。ここにはじめて病理解剖学（病理学）が生まれ、人間は病気を見るようになるようになったのです。モルガーニは1761年、79歳になって700例にわたる臨床経過と解剖所見の対比をまとめあげ、人類史上初めて本格的な病理学書をまとめあげましたが、そこにはすでに四体液も精気もありませんでした。モルガーニの信条である“賞賛し、追従すべきことは古いものでも、新しいものでも、伝統でもなく、常に真理のみである”という言葉はわれわれに科学する心というものを教えてくれます。

その後、顕微鏡の進歩によって細胞レベルの異常がいろいろとわかり、特定の細胞の異常が病気に結びつく細胞病理学が確立されました。

近年では生化学、分子生物学の進歩によって、ある特定の分子、遺伝子の異常が病気の原因であることもわかり、ついに人間は分子、遺伝子のレベルまで病気を見るのが可能になっ

たのです。

病理学とはこのように臓器、細胞、分子のレベルで病気を見て病気の原因、成り立ちを考える学問です。特に顕微鏡観察など形態学を通しての研究を得意としています。そして、得られた長年の知見によって、患者から取られた組織、細胞検体を肉眼的、顕微鏡的に観察して、病気の種類を特定することが“病理診断”なのです。

日本における戦前までの病理学は、病理解剖を主な対象とした研究としてのものでした。戦後、アメリカから生きた患者様の診断に役立つ病理学、診断病理学、外科病理学が発展してきました。今日では当院のような基幹的な病院には病理診断部門が整備され、患者さんの診断の確定、治療方針の決定、治療効果の判定、死因究明などを行っています。

【医療における病理の役割】

病理学が医療の中でもっとも活躍する分野としては癌の診断、治療が挙げられます。

私たち病理学者は長年の知識の蓄積から正常の細胞と癌細胞の形態学的違い（顕微鏡で見た両者の形の違い）を知っています。このことを応用して患者さんの病巣から少しだけ取られた組織を調べて、癌か否かを判断するのです。今日、手術、化学療法、放射線治療を行う前にはほとんどの場合、このような病理学的検査、生検検査が行われます。まさに、病理診断は患者さんにとって最終診断なのです。

手術によって、切除された検体はさらに詳し

く調べられ、病気の種類を確定すると同時に、病気の進行の度合いを判定、手術の評価をします。その結果によって、患者さんの術後の治療方針が決定されるのです。最近流行の分子標的治療については、細胞の形態学的特徴、分子的特徴にあわせて行われますので、病理診断の重要性はますます高くなっています。

患者さんが不幸にも治癒することなく死亡された場合、今日においても病理解剖が行われることがあります。これは患者さんの死因を特定し、診断、治療が適切であったのか評価するためです。若い医師の教育にとっても非常に有意義なものです。今日では医療紛争を解決するための手段としても期待されています。

【おわりに】

今後、ますます病理診断は医療の中で重要なものになっていくと思われます。公開講座のなかでは癌などの病気がどのように診断されていくのか、具体的にわかりやすく説明したいと思います。



〈病理検査室〉



〈病理診断の様子〉



〈院長あいさつ〉

2008年3月3日、私の故郷である横浜・日吉で、『佳久こどもクリニック』を開院いたしました。当クリニックでは、「病気でつらい気持ちになっているお子様とその家族の不安や心配を少しでも和らげてあげたい」といったコンセプトをもとに、あたたかい雰囲気を心がけています。

● 感染防止

一般診察室と特別診察室があり、感染力の強い伝染病（はしか・風疹・みずぼうそう・おたふくかぜ など）の患者さんには他の患者さんとは別の入口から特別診察室に入っていただくようになっています。

発熱以外に発疹（ほっしん）や水疱（すいほう）がみられる患者さんは特別診察室で診察いたします。発疹かどうかわからない場合は遠慮なくクリニックスタッフに聞いてください。また各種予防接種にも積極的に取り組んでいます。

● 中核病院との連携

当クリニックでは虎の門病院をはじめ、帝京大学病院や横浜労災病院、関東労災病院、日本医大武蔵小杉病院、昭和大学横浜市北部病院、済生会横浜市東部病院といった中核病院にある小児科と病診連携体制をとっております。

当クリニックで診察し、検査や入院治療が必要な患者さんには中核病院を紹介させていただき、検査後または病気が治ったあとは当クリニックで引続き診療するといった体制です。

院長 佳久 哲宜 (かく てい)



● 略歴

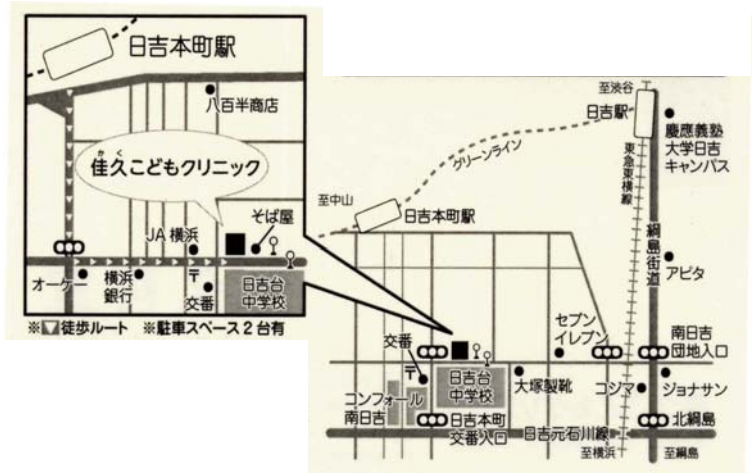
- 1995年 愛知医科大学卒業
帝京大学小児科で2年間研修
- 1997年 国立小児病院新生児科レジデント
- 1999年 帝京大学総合周産期母子医療センターNICU助手
- 2000年 北海道 帯広厚生病院小児科
- 2001年 北海道 町立中標津病院小児科
- 2006年 虎の門病院小児科
- 2008年3月 佳久こどもクリニック開院

● 専門他

- 日本小児科学会認定 小児科専門医
- 虎の門病院 小児科非常勤医師



外観



▶ 診療科目：小児科

- 乳幼児健診（予約制）
- 予防接種（予約制）

受付は、診療時間の終了15分前までです。	診療時間	月	火	水	木	金	土/祝	休診日 水曜日 日曜・祝祭日 土曜日午後
	9:00～12:00	▶	▶	—	▶	▶	—	
	14:00～15:00	●	●	—	●	●	—	
	15:30～18:00	▶	▶	—	▶	▶	—	

横浜市港北区日吉本町3-30-11
TEL: 045-560-5575

- ☆横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉本町」駅より徒歩5分
- ☆東急東横線・東急目黒線「日吉駅」よりバス10分
(東急バス B51系統「コンフォール南日吉循環」)
♀「日吉台中学校」バス停下車すぐ
- ☆駐車スペース2台あります

ホームページをご覧ください
www.kaku-kodomo.com



虎の門病院では厚生労働省の定める医師臨床研修を実施しています

医学教育部部長 竹内 靖博

【虎の門病院における研修医教育の歴史】

虎の門病院では1960代より一貫して、医師の卒後臨床研修を行ってまいりました。当院では病院設立間もない時期から、「病棟医（レジデント）制度」を設け、若手医師の臨床教育を中・長期的な視野に立ち実施しております。

【2004年度から 新しい医師臨床研修が開始されました】

2004年度より卒後2年間の医師臨床研修は義務化（必修化）され、全ての医師が定められた制度に従って、専門診療科に限定されない幅広い臨床研修を受けることになっております。当院におきましても、同年4月より新しい医師臨床研修を提供する「管理型病院」として、いくつかの医療施設と連携をとりつつ研修が実施されております。

当院における従来の研修医教育と現行制度との違いは、全ての医師が必修診療科（内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療）を2年間に研修する点にあります。そのため、各科における研修は1-2ヶ月の短期間となっております。また、各研修医の専攻志望とは関係なく、多くの診療科で研修を受けることとなります。

この制度は、全ての医師が基本的な診療能力を幅広く身に付けることを目的としており、これは多くの国民が医師の臨床研修に求めるものであると理解しております。当院では、このような制度のもとで全ての研修医が日夜診療に携

わっていることをご理解いただきたいと思います。

【卒後臨床研修評価機構から 認定を受けました】

当院は2008年4月1日付で第三者機関である卒後臨床研修評価機構から臨床研修病院としての認定を受けました。これは2007年度から開始されたもので、当院は全国で35番目、東京都では6番目の認定です。この認定は当院の医師臨床研修の質を客観的に評価するものです。



【当院の医師臨床研修に関するご意見を 歓迎いたします】

当院では医師臨床研修の質を向上させるため、先に述べたように第三者機関からの評価を受けるなど日々努力しております。当院における医師臨床研修の実態に関してお気づきになられたことがございましたら、医療連携部までご意見をお寄せ下さい。医療従事者の皆様からのご意見も承っております。お寄せ頂いたご意見は、院内の医学教育部および研修管理委員会において検討させていただき、当院の医師臨床研修の向上に役立てていきたいと考えております。

虎の門病院は平成20年5月20日に創立50周年を迎えました

これまでご支援いただいた多くの皆さまに感謝し式典を行いました（写真）。

「あなたにも私たちにも満足度の高い医療を提供します」をモットーに皆さんが納得できる良質で温かい医療を提供する、患者中心医療の充実に全力で日夜取り組んでいます。病気の治療は、医療を受ける側と医療を提供する側の共同作業で、相互の理解と信頼が一番大切だと私たちは考えています。私たちが誇りに思える最良の医療を、皆さんに満足していただける形で真心込めて提供し、その成果とともに喜び合えるよう、気持ちを新たに再出発いたします。

今後ともよろしく願いたします。



健康こぼれ話（6月）

煙草の話（6） ー 健やかで豊かな生活のために：タバコの医学ー

医療安全アドバイザー

シミュレーション・ラボセンター長 中西 成元

タバコの、喫煙者本人の健康に対する影響については前述しました。しかし、自分の意思とは関係なしに環境中のタバコの煙を吸わされる（受動喫煙）ことで健康を害される、という恐るべき事実が明らかになりました。もはやタバコを吸うことは自業自得では済まされません。受動喫煙の害について、日本の研究者が成し遂げた大きな仕事が世界的に広く知られています。平山雄（たけし）国立がんセンター部長のコホート研究（*）です。1966年から全国6県から40歳以上の成人265,115人についてライフスタイルを調査した上で、17年間経過観察して日本人の死因と生活習慣の前向き研究（**）を行ったのです。その結果、生活習慣と部位別に見たがんには密接な関係があり、ライフスタイル次第でがんのリスクを大いに変えられることがわかりました。その中で、喫煙者の妻の肺がんのリスクは、夫の喫煙量と密に関係していることが明らかになりました。受動喫煙による急性影響も、喫煙者本人への影響と全く同様に、環境中に数秒間存在するタバコの煙によって生じます。特に小児にとっては影響が重大で、喘息の悪化が問題になります。慢性影響についても研究が進み、9種の疾患（虚血性心疾患、肺がん、副鼻腔がん、急性下気道感染症（小児）、気管支喘息の発症と悪化（小児）、慢性呼吸器症状（小児）、中耳炎（小児）、低体重出産、乳幼児突然死症候群）が確実に因果関係があるとされ、その他にも5種に可能性があると同定されています。

受動喫煙は、胎児と乳幼児の生存にも重大な影響を及ぼします。妊婦自身の喫煙と出産後の家族喫煙が、乳幼児突然死の主要な危険因子である事が明らかとなっています。流産、低体重児、手指の障害、口蓋裂のある子供が生まれやすい、などのリスクも報告されています。さらに出産後であっても、母親が喫煙を行っている、その娘が成人した後に流産しやすいというデータもあります。両親の喫煙は、子供のみならず孫にまで影響するのです。

現在、日本では女性と若者の喫煙率の上昇が止まりません。タバコのイメージに惑わされ、依存症になってしまったと考えられます。タバコは自分だけでなく子孫にまで影響します。なんとしても止めなければなりません。

それではタバコを止めればどうなるのでしょうか。もう長らく吸ってきたのだからいまさら止めても仕方がない、と思っている方も多いようです。しかし最近の研究では、いつであっても禁煙を行えばその時点からリスクが低下し始めることが確認されています。肺がんの場合、喫煙を続けていた人と比べると禁煙後10年で約1/3～1/2のレベルに下がり、さらに続けるとリスクは下がり続けます。禁煙時の年齢が若いほどリスク低下が著明です。その他のタバコに関係あるがんや循環器疾患に対する効果も確認されています。生活習慣病の予防として、禁煙は最も効果的かつ費用のかからない手段です。自分の健康のみならず、他人の健康、ましてや自分の最愛の妻や子供、孫への健やかな生活を守るために、タバコを吸っている人が行わなければならないことは禁煙です。

タバコを止めることで、日本の全男性のがんによる死亡を年間6～9万人減らせると試算されています。肺がんに限ると約70%はタバコが原因ですから、禁煙によって1/4になる計算です。当社に当てはめると、約2万5千人の組合員の中で、最近5年間の肺がんの罹患者数は年間平均約7人でしたから、それを2人に減らすことができます。

生活習慣病が話題になり、メタボリック症候群の認知度は高まりました。中でも腹囲に多くの目が向かっていますが、生活習慣ではタバコがなによりも重要な問題です。いきなり全面禁煙は無理ですが、手遅れにならないうちに皆さんがタバコの持つ問題を正しく認識する必要があります。

*平山雄の研究そのものは、現在では統計の有意性や信頼性に欠ける部分が多いとも言われている。だが後年に他の研究者が行った多くの研究により、導かれた結論はおおむね正しいという評価が下されている。

**前向き研究＝サンプルをある時点から一定期間追跡して行う研究方法。逆にある時点の死亡者をサンプルとして生前の生活習慣を調査するのが後ろ向き研究。

「五月雨ににはの浮巢を見にゆかん」

芭蕉

馬込文士村—4 川端康成② 伊豆の踊子

元精神科部長 栗原 雅直

20歳のとき、一高生の川端康成は「孤児のため歪んだ」根性を息苦しく感じ、それから逃れようとして、誰にも告げずふらりと伊豆に旅立った。湯ヶ島の旅館「湯本館」まで来たとき、流しの踊子が狭い玄関の板敷で踊るのを見物したが、彼らと仲良しになり、結局一緒に天城越えをすることになる。のちに彼女らが自分をいい人ねと評する明るい声を聞いたとき、孤児根性から救われるように感じた。このエピソードが小説『伊豆の踊子』になっている。彼は同じ宿に長期に滞在して、作品を完成させた。

昔、天城街道はこの旅館のすぐ前を通っていた。ここは今「伊豆の踊子コース」の起点になっている。現在も旅館の玄関には梯子段の途中で下を眺めている後年の彼の写真が飾られているし、さらに何代も主役を替えて撮影された人気映画『伊豆の踊子』のスチール写真もにぎやかである。池辺良、岸恵子、吉永小百合、山口百恵等々。

この旅館は川端さんの定宿だったが、なぜ貧乏な彼が、ときには一年以上も続けてこの旅館に滞在できたかは、謎でないだろうか。一時は当時のお金で600円も勘定が溜まっていたという。それは一種の人徳があったため、彼は気に入った本や骨董品があれば、勘定をどう払うかなど考えもせず持って帰り、それでも恨まれない人だったのである。

もう一つは、旅館の女将「おかね婆さん」が、湯ヶ島温泉の優れ者で、お勘定など無視して尽くす人物だったからではなかろうか。現在、旅館は親戚の孫娘が跡をつぎ、地元JAの元幹部が入り婿になって健闘している。

長逗留には実はもう一つの秘密があった。川端に近い人の話では、彼は湯ヶ島に滞在中、菊池寛の代作をしていたらしいのである。このブルジョア作家の代表作『真珠夫人』は、実は川端の代作なのだという。彼が書くのはいつも芸術作品ばかりだったわけではなく、『東京の

人』のような通俗小説も書いた手足れ者だった。こんなことは決して非難すべきではなく、若い作家が有名作家の代作によって生活の資を得、修行してゆくことなど、昔はざらだったらしい。

村上征勝著『シェークスピアは誰ですか?』(文春新書)によると、文章の長さや特定の単語の使用頻度、接続詞の使い方などを調べれば、ある作品の真の作者を、計量文献学的に推定できるという。私はさらにロールシャッハ・テストも有力と考えている。代作か否かの研究は、いい心理学のテーマのように思えるのである。

旅館の話によると、彼の湯ヶ島滞在中、文芸春秋社からは何回にもわたって、数十円ものお金が振り込まれてきた。これも間接証拠ではないだろうか。

話は変わるが、『伊豆の踊子』は『雪国』とともに、川端文学の双璧だろう。さらりと読めるけれど、実は何回も筆を入れ書き直された厚塗りの油絵のような作品なのである。そこには人間の「性」や「生命の流れ」をめぐる深層心理が書きこまれている。

例えば踊子を連れ歩く男には、彼の父親「栄吉」の名が与えられている。川端青年は、この男に自分の烏打帽を脱いでかぶせている。またこの作品の冒頭に、茶店の奥の炉端にあぐらをかき、水死人のように蒼ぶくれた中風病みの爺さんが登場している。踊子との心の交流という本筋とは関係がなさそうな話だが、彼は「祖霊との交流」を、どうしても作品の中に書き込みたかった、と私は思っている。



(湯本館にて 川端康成)



(明治36年につくられた天城トンネル
北條誠著『川端康成 文学の舞台』(平凡社)より)



(湯本館 パンフレットより)

虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時選定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

本院診療受付時間(初診)	
内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
麻酔科	13:00-14:30(水以外)
外科	8:30 - 11:00
脳外科	月曜～金曜 8:30-11:00 月(第2・4)・金 13:00-14:30
整形外科	8:30 - 10:30
形成外科	8:30 - 10:30
産婦人科	8:30 - 11:00
泌尿器科	8:30 - 10:30
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2
TEL 03-3588-1111 (代)
地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分
車でご来院の方：有料駐車場があります
(30分：300円 患者さん割引あり)

虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1
TEL 044-877-5111 (代)
田園都市線梶が谷駅より徒歩15分
宮崎台駅よりバス5分

さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1
さいたま新都心合同庁舎2号館1階
TEL 048-601-1347
JRさいたま新都心駅 徒歩5分
JR埼京線 北与野駅 徒歩8分
(診療科) 内科・精神科・歯科
平日AM 9:00~11:30 PM 1:30~4:00

分院診療受付時間(初診)

	午前 8:30-10:30	午後 1:00-3:30
内科総合診療科 (一般内科)	○	○
内分泌代謝科	水・木・金	×
呼吸器科	金	火
肝臓科	週による	週による
消化器科	×	水
神経内科	×	月
腎センター(内科)	月・火・水・木	月(第1×)・火・金
腎センター(外科)	月・火・金	×
精神科	×	月・火・水・木
循環器センター	×	水(第1)
外科	火・木(第2・4)	火・水・木・金
整形外科	○ ※月は午前10時～	×
皮膚科	×	火(第2・4) ※午後1時～2時
小児科	×	月・水・金
泌尿器科	×	木
歯科	○	○

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院附属
健康管理センター・画像診断センター
直通) 03-3560-7777 (平日8:30 ~ 16:00)

※お問い合わせの電話を多数頂いており現在電話がかかりにくくなっております。
大変申し訳ありませんがご了承下さい。

当院でセカンドオピニオンの 提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。(予約制)

(料金) 60分：31,500円
延長される際には、30分毎：21,000円
医療連携部 (直通) 03-3560-7823